

## つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和6年度）2024

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	4	27	土	8:30	12:00	五味ヶ谷市民の森	22名
活動名称	家族で楽しむタケノコ掘り体験会 その1					報告者：吉井 優	

### 1、活動目的

竹林整備の一環として、タケノコの駆除活動（適正本数管理）を行っている。これをイベントに変えたのが「家族で楽しむタケノコ掘り体験会」です。昨年に続き、4月と5月に1回ずつ開催し、不要なタケノコをできるかぎり、駆除できるよう企画した。また、日常めったにできない自然体験として、掘ったタケノコをそのまま焚火で焼く大名焼きを実施し、竹林の面白さをアピールできた。

### 2、活動内容ほか

今年は豊作の年で、タケノコが大量に発生しています。昨年から盗掘に悩まされていましたが、20日に初めて盗掘者が現行犯でつかまりました。その後もわずかに盗掘の跡が見受けられますが、引き続き警察が見回りしてくれていますので、過去にみられたような販売目的の大量盗掘は、なくなると期待しています。

4月27日は、早朝に小雨が降っていたせいか、キャンセルもあったが、31家族96名の参加者により、タケノコ掘り体験会を実施した。

9:45ごろからタケノコ掘りを開始し、家族ごとにショベルを使って、深く孔を掘り、根元を切断してタケノコを掘る作業に没頭した。杉下支え合い協議会、一二三富の会、おやこ劇場から協力をいただき、子どもたちやお母さんが苦勞している現場では、お手伝いし、参加者全員が楽しくできるようにスタッフも活躍した。食べごろの小ぶりのタケノコを掘って、すぐに焚火で大名焼きにして、美味しくいただいた。

### 3、評価：

今年は豊作の年で、1家族2本を基準に体験し、1本は持ち帰り可能として、残ったタケノコは、東市民センターに届けたり、太田ヶ谷のタケノコ掘り体験のお土産にしたり、スタッフのお土産にした。掘りたてのタケノコを素早く焼いて食べる大名焼きも、初めての経験らしく、興味津々で満足していたようです。タケノコ掘の基準を30cm以下に限定し、火事あと周辺を赤テープで制限したことも良かった。

### 4、課題

今年は豊作の年であり、たけのこ掘り体験も盛大に開催でき、多くの太い若竹を残すことができ、竹林の景観を良くすることに貢献できた。来年は、不作の年となり、昨年同様タケノコ不足になやまされることになりそうだ。体験会を1回にして、何とか参加者分を確保することも検討したい。また昨年は、体験会と度重なる盗掘で、若竹をほとんど残すことができなかった。今年は、絶対残したいタケノコに3脚をたて、盗掘禁止のアピールをしたところ、対象のタケノコは全て無事だった。来年は、4月早々からこの対策を施すようにする。

<里山参加会員>

佐野英、阿部、石川、牛島、小沼、今、石樽、上見、小嶋、柏木、石黒、  
松井、柳川、小澤弘、小澤邦、木部、吉富、吉井  
撮影時不在 橋本、杉山、田中、伊佐山

<活動写真>

